

TAKE  
FREE

# がみな落語

六代桂文枝

聖  
者  
の  
行  
進

社会人落語

平成26年1月8日&19日  
スカパー! ch542  
『窗席チャンネル』  
にて放映決定!

## 第五回 社会人落語日本一決定戦

総集編

【TOPICS】六代桂文枝大会総括  
第5回ファイナリストインタビュー



KAMI RAKUGO  
BIMONTHLY  
MAGAZINE

12-1  
2013 December

# 一松亭 風林火山

大友 英裕 / 49歳 / 会社員 / 千葉県

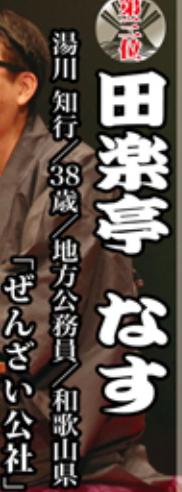
「たけのこ」



予選から先は想定外

なるべく、編集せず制限時間内に収まる斬がいいのでは?というアドバイスに沿って演目を選びました。単調な斬の中で感情の起伏や流れを少しオーバーに表現してインパクトを与えるのが、稽古風景を百回録画して見直し後悔しないように努めました。そういつた意味では、決勝戦よりも予選会場を勝ち抜けることが泣き出しそうに辛い試練でした。

正直、そこから先のことは全然考えていませんでした。決勝戦では小さなくすぐりにも敏感に反応して笑っていただけのお客さんに感謝しています。出番でひとりふたりと楽屋の人数が減っていくあの感じは、二度と味わえないゾクゾクかもしれないのに、それも楽しかったです。自分が本当によくやつたと思います。今もまだ少し、現実かどうか信じておりません。



無意識の舞台でまさかの3位

# 第五回 社会人落語家 日本一決定戦

ファイナリストインタビュー

**決勝戦 平成25年 10月19日(土) 池田市内 6会場**

記念すべき第五回目となる今年。北は北海道から、南は沖縄まで、329名の応募者総数から集結した予選出場者数は、過去最多の174名!

19日、池田市内各6会場で行われた予選会では、舞台も客席も笑いと熱気で大盛り上がり!歩行者天国では、池田名産品の販売やイベントが催され、たくさんの人でぎわいました。

20日の決勝戦では、選ばれた10名のファイナリストが熱演!  
笑いあり涙あり、感動の2日間となりました。



スカパー! ch542 『寄席チャンネル』  
平成26年1月8日前編/19日後編放送  
※放送日は変更となる場合がございます



今の自分を出し切りました。  
楽しく斬す!ということを意識していたので、決勝に選ばれた時は驚きとともに「今の方をちゃんと出し切れたんだ」という実感が湧いてきました。決勝に残られた方々は私の何倍も貴様や、積み重ねてきた経験が多く、そんな方々と同じ高座に上がれることがうれしかったです。自分の落語の魅力は、男らしい(男闊気)ところ。威勢の良さや、チャキチャキ感があるんじゃないかな?と勝手に思っています。今後も「私らしい雰囲気」を入れていけたらいいなと。まだまだ基本を勉強中なので、まずはじっくり基本を身につけて、楽しみながら変化していくたいと思います。

**天神亭 志ら香**

武田まみ子 / 59歳 / 主婦 / 兵庫県

「骨つり」

第二位

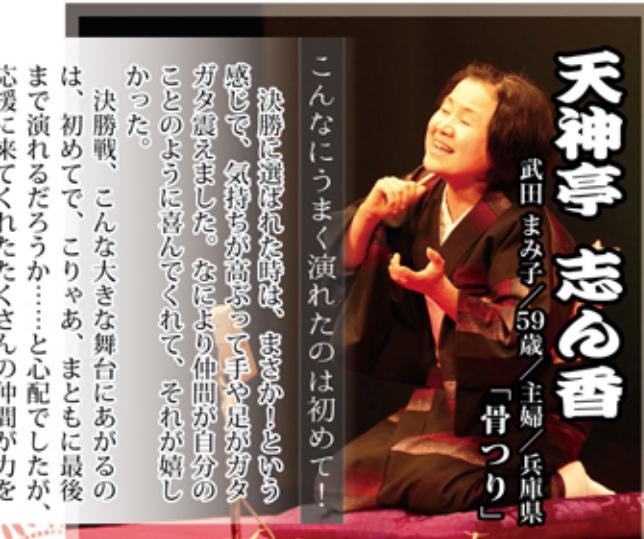
天神亭 志ら香

湯川知行 / 38歳 / 地方公務員 / 和歌山县

「ぜんざい公社」



無意識の舞台でまさかの3位



こんなにうまく演れたのは初めて!  
決勝に選ばれた時は、まさか!といふ感じで、気持ちが高ぶって手や足が力欠けた震えました。なにより仲間が自分のことのように喜んでくれて、それが嬉しかった。

決勝戦、こんな大きな舞台にあがるのは、初めてで、こりやあ、まともに最後まで演れるだろ?などと心配でしたが、心懐に来てくれたたくさんの中間が力を

**すまいる亭 梅香**

桑原順 / 39歳 / 介護福祉士 / 東京都

「強情炎」



## 無意識の舞台でまさかの3位

落語を始めて1年足らずの若輩者が腕試しのつもりで挑んだのが今大会です。まさか決勝進出できるとは思っていませんでしたので、予選では目の前のお客さんに楽しんでいただけに集中して高座に上がりました。それだけに、選ばれた時は「えらいことになつたなあ」というのが正直な気持ちでした。決勝戦、舞台のことは実はよく覚えていません。完全に意識が飛んでいました。ただ遠のく私の意識を、お客様の笑い声が辛うじて座布団の上に留め置いてくれたのは確かです。自分の落語の魅力を敢えて言うなら「全力投球」。技術や経験がない分、全力投球でお客さんを笑わせようと必死の思いで高座に上がつたことがよかつたのかもしれません。



海月家・ふかり  
永廣 まどか / 24歳 / 主婦 / 大阪府  
「熊の皮」

多くの仲間に感謝！

予選・決勝共に、社会人落語家の仲間や、落語が好きなお客様に助けていただきました。予選の楽屋では、江戸落語のマニアックな話を新しくできた友達と共にありました。

「熊の皮」は夫婦ネタですので、普段の生活態度を生かして演じて、お客様に笑ついていただけたらと思っていました。選ばれた際は、「やった！夫（夫も社会人落語家なのですが）に勝てた！」と言つていよいのでしょうか。

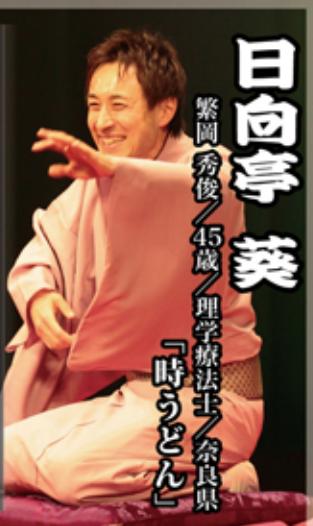
落語の登場人物の様な社会人落語家の



## 笑いあり、涙あり…あの感動をもう一度！



応援に来てくれたたくさんの仲間が力をくれたようで。それに、あまりに大きな舞台だったので、なんだか、開き直つてしまい、緊張しいの私が嘘みたいに、リラックスして演れました。観客のどつ！とした笑いが心地よく、こんなにやり易い舞台は初めてでした。ホント、幸せ！



日向亭 美  
繁岡 秀俊 / 45歳 / 理学療法士 / 奈良県  
「時うどん」

愛娘の言葉に助けられ



表田仁美 / 26歳 / OL / 千葉県  
「鈴ヶ森」

舞台で全力を出し切りたい！  
とにかく決勝戦へ進みたいと強く思い、目標と気持ちを高めるようをしていました。ファイナリストの発表で自分の名前が呼ばれた時は、安堵したのを覚えています。決勝戦の幕が降りたあと、文枝師匠の方から「どうした？元気なかつたな。」と、声をかけてくださいました。その時、演者が元気のない落語は二度と高座ではやらないぞ！と心に決めました。

元々子供やお年寄りの方々に私の落語を聞いて欲しいと思っていたので、もつと場を和ませられるように。そして来年もこの大会に出場出来るよう健康でいることはもちろん、新たに新作落語を作つてみたいと思っています。

落語家の事ですか?」は勝てた!」と言つ

落語の登場人物の様な社会人落語家の皆様の事が私は好きで、そうなりたくて。触れ合つて思うのは、やはり一生懸命に生きていないと落語は面白くならないんだなと。そんな皆と出会えるきっかけとなつた池田の大会に感謝しております。

義理堂

# 微笑亭 ざる太

「三者  
面談」

横井 正幸 / 48歳 / 自営業 / 愛知県



伊藤博昭 / 54歳 / 旅館業 / 大分県  
『夢の皮算用』



## 過去最多174名による熱戦!笑い



玄花亭 山道

元木 康彦 / 47歳 / 会社員 / 山形県  
『ピンクレシートの日』

夢舞台、舞い上がつてしましました  
わたしの古典の実力では決勝進出は無理だと思い、今回は創作落語に取り組みました。決勝進出が私の目標であり夢でもありましたので、選ばれたときは、信じられない!といった気持ちでいっぱいでした。

決勝戦では、あまりのうれしさに舞い上がって、ずいぶん早口になつてしまつた気がします。それでも会場のお客様がすごく暖かくて、本当に夢のような最高の瞬間が味わえました。楽屋でもみんな和氣あいあいといった感じで、私にとってはそこに居れることが嬉しくてたまりませんでした。もう一本、今回のものを超える創作落語を作ることが今後の目標です!

日本一になつてみせる」と火口をたたき、空しく散った過去4回。名前が呼ばれ、今までの全ての思いが報われた瞬間でした。決勝戦は「いつも通り、ほつこり自分らしく」と何度も自分に言いきかせて挑みました。いざ夢の舞台は手が震えるのを通り越し、びりんびりんに痺れました。それでもお客様の温かい空気助けられ、いつも以上に「いつも通り」ができたとても有り難い12分間でした。大会後、「お父さん、残念やつたね。でもね、みんなに喜んでもらおうと思う気持ちが伝われば、それでええねん。娘の嬉しい成長も加算して、自分らしい『時うどん』ができたと思います。

愛娘の言葉に助けられ

出場してもどうせ通らないだろう、出ても仕方ないと思ってこれまで避けてきたんです。でも社会人で落語をする限り、いつまでも逃げてられないなと。ダメもとで、今回初めてチャレンジしました。

(ネタは自身の創作落語)創作に取り組んだのは社会人になってからなんです。大学の落研時代は、古典を自分なりにアレンジして演じていたんですが、層の厚い社会人では、まるで通用しません。先輩方の年季の入った素晴らしい芸を見るにつづ、自分が落語をしていていいのかなと落ちなんかが落語をしていていいのかなと落ち

では、落語を演じていたんですけど、層の厚い社会人では、まるで通用しません。先輩方の年季の入った素晴らしい芸を見るにつづ、自分が落語をしていていいのかなと落ちなんかが落語をしていていいのかなと落ち

込んだ時期もありました。悩んだ結果、だったら他とは比べようのないものをやろうと。ぼくにとって創作落語は、好きな落語を社会人で続けるための手段でした。現在、人に見せられる創作落語は2本です。自分を信じて自信のあるもので挑みはしましたが、予選の高座に上れるだけでも大満足。それだけに決勝に残った時は、「えらいことになった」と、懐でてしまって、楽しさしか感じませんでした。

決勝の舞台は、途中からハイになつてしまつて、楽しさしか感じませんでした。

青山知弘／26歳／経理部／大阪府



## 銀杏亭 魚折

「スライダー課長」

青山 知弘／26歳／経理部／大阪府



こんな気持ちは久しぶりです。ただまさか優勝できるとは夢にも思いませんでした。しかし、しばらくは信じられませんでした。家に一年分の「どん兵衛」が届いてやつと実感がこみ上げてきました。

「ああ、これからも落語を続けていいんだ」つて。学生から社会人になって、一度は落語を捨ててしまう人も多いんです。そういう意味では若い社会人落語家が極端に少なくなってしまう。今回、働きながら落語をがんばられたことが自分にとって財産にもなりましたし、後輩たちには、落語を続けてもいいんだよ、やつてれば良いこともあるよ、というのが少しは伝わったかなと思います。

社会人落語日本一決定戦が今年も無事幕を開きました。池田の市民の皆様、この大会に関わった全ての皆様にまずはお礼申し上げます。

今回5回目にして、社会人ならではの落語「社会人落語」が、プロの落語とは違うカタチで成立したと思います。皆さんのが古量にも驚かされますし、社会人の場合は、一つのネタをずっと追求してやることが出来ますのでね。皆さんお仕事をしながら好きな落語を教えあって、色々なところでやられるんでしょうけど、それは見事でした。とりわけ決勝戦の上位3名は本当に僅差でございました。これまで優勝者が頭ひとつ抜けているというイメージがありましたけど、今回は本当に誰が優勝してもおかしくな

ません。

もちろん、優勝された方(銀杏亭 魚折)も見事でした。嘶の構成力もあり、ひじょうに才能溢れる方だと思います。やはり「才能」というのは、日々稽古を継続できるからこそ「溢れる」ものです。あれだけスマーズに淀みなく喋れるということは、か

## 六代 桂文枝



### 総括



決勝の舞台、自己採点は台本、演技共に85点。ほんとは100点と言いたいのですが、調子に乗ってしまいそうなんですね。

プロへの憧れももちろんあります。社会人すらままならない自分が務まる世界だとは思えません。今後も楽しく落語を演じながら、多くの人に演じていただけます。

幅広い世代、さまざまご職業の皆さん

が、落語を演じることでつながる社会人落語日本一決定戦。さらなる発展に向けて、今後も皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

### 特別興行 いけだ大落語会

記念すべき第五回目となる今年、決勝戦後に行われた大落語会には、笑福亭鶴瓶師匠が初登場!

桂文枝師匠、桂きん枝師匠との3大共演が実現。満員とな

り、アゼリアホールは、笑い



